

# 幸せの歌



JA宗谷南

2019NEN  
6GATUGOU  
~SEASON70~

# 第10回

## 通常総会

### 開催

5月24日、枝幸町コミュニティセンターで、出席者115名（本人出席60名、委任状25名、書面議決書30名）の中、宗谷南農業協同組合第10回通常総会が開催されました。



5月24日、午前10時の開会の後、初めに物故組合員役職員へ向け黙祷を捧げ、JA綱領を唱和し、激励状及び目録の贈呈、良質乳出荷者表彰及び永年勤続者表彰の授与が行われました。

激励状贈呈では、今年の5月より音標地区で営農を開始した孫叡さんと歌登本幌別地区の菊池栄治牧場の後継者、菊池智拓さんが、連合会を代表し、ホクレン稚内支所、佐藤支所長より授与されました。又、激励状が贈呈された2名と、今年の7月より(有)ヤマウスファームの経営を引き継ぎ、(同)枝幸ヒロヤマファームとして新たに営農を開始する廣山辰徳さんが、特別措置要領により、乳牛購入代金として100万円の目録が向井地組合長より手渡されました。良質乳出荷者表彰では、山崎紀幸さん、米田徹さん（当日欠席）、菅原一人さんの3名が表彰されました。

永年勤続者表彰は、30年勤続した職員が表彰され、横山伸一店長、松永修輝課長、金木孝典課長、乾洋之課長の4名が表彰されました。

開会挨拶で向井地組合長は、昨年は長雨による粗飼料の品質低下や北海道胆振東部地震に伴うブラックアウト等、自然災害による被害があった年でしたが、生乳の出荷量は組合員皆様のご努力もあり、前年比102.3%の結果となったことや、議案にもある枝幸町への寄付については、今まで財務が厳しい中、多大な支援を頂いております。今後は育成牧場施設の新設や、組合員、子会社等の労働力確保の為に、技能実習生や就農研修生の宿舍建設を進めて行くことを考えての寄付であり、次年度以降も決算状況によって継続して行きたい旨を述べました。

その後、来賓のご祝辞を頂き、来賓紹介、祝電披露を行い議長選出へ進みました。



～目録贈呈～  
奥から、孫叡さん、廣山辰徳さん、菊池智拓さん



～激励状贈呈～  
奥から、孫叡さん、菊池智拓さん



～永年勤続者表彰～  
奥から、横山店長、松永課長、金木課長、乾課長



～良質乳出荷表彰～  
奥から、山崎紀幸さん、菅原一人さん





# 2019道北B&Wショウ



ジュニアチャンピオンを受賞した赤坂一弘さんと、リザーブジュニアチャンピオンを受賞した小椋義則さん(中央右)

5月13日、ホクレン豊富地域家畜市場を会場に、道北ブラック&ホワイトショウが開催されました。

審査員に大久保大輔氏(清水町・酪農家)が選任され、宗谷・留萌管内より100頭、当農協からは6戸28頭が出品されホルスタインとしての資質を競いました。

1部で、赤坂一弘さん出品の「マタドール ジャコビー クレア」が1位、小椋義則さん出品の「オムラ ソロモン アベイル ET」が2位、2部で、内田喜久男さん出品の「ハツピーライン ジャコビー ラスター」が1位、4部で、赤坂一弘さん出品の「ニシキ ソロモン チャーチエル スー」が1位で、「ルー ジュモンテ キングスウェイ ドアマン ハピネス ET」が3位とそれぞれ上位に入賞し好成績を収めました。

また、ジュニアチャンピオンに赤坂一弘さん出品の「マタドール ジャコビー クレア」、リザーブチャンピオンには小椋義則さん出品の「オムラ フジサン ブラック ET」が輝きました。

グランドチャンピオンには、幌延町の富樫悠輔さん出品の「ヘールストーン トラディ AC ミラニスタ」が輝きました。

2019年道北ブラック&ホワイトショウ結果 (JA宗谷南)

部	出品番号	名号	生年月日	出品者	順位
1部	105	マタドール ジャコビー クレア	H30.9.14	赤坂 一弘	1位
	103	オムラソロモン アベイル ET	H30.10.2	小椋 義則	2位
	110	ホルスター アクミードアマン	H30.8.20	高橋 慶大	4位
2部	219	ハツピーライン ジャコビー ラスター	H30.6.13	内田 喜久男	1位
	232	オムラMS エーデルワイス	H30.5.12	小椋 義則	4位
3部	316	ホルスタードアマンカルプレット	H30.3.10	高橋 慶大	8位
	408	ニシキソロモン チャーチエル スー	H30.1.3	赤坂 一弘	1位
4部	403	ルージュモンテ キングスウェイドアマンハピネス ET	H30.1.9	赤坂 一弘	3位
	411	ウチ フロアジツ ソロモン マークイス	H29.12.7	内田 喜久男	5位
	505	オムラフジサン ブラック ET	H29.10.2	小椋 義則	1位
6部	605	ロング メジラコトツ	H29.7.2	内田 喜久男	2位
7部	723	ニシキ アンソニー チップ プリトニー	H28.11.25	赤坂 一弘	8位
8部	802	M.F ロデオドミニク	H28.10.21	関口 真也	6位
	902	マタドール ビーマー ミツシエル ステラ	H28.3.20	赤坂 一弘	2位
9部	904	オムラヒル アンドリー	H28.1.31	小椋 義則	3位
	1002	M.F ロデオドミニク	H27.10.23	関口 真也	5位
10部	105	マタドール ジャコビー クレア	H30.9.14	赤坂 一弘	チャンピオン
	505	オムラフジサン ブラック ET	H29.10.2	小椋 義則	リザーブ



出品番号105



出品番号103



出品番号219



出品番号505



出品番号403



出品番号408

グランドチャンピオン:「ヘールストーン トラディ AC ミラニスタ」幌延町 富樫 悠輔

# 2019北海道B&Wショウ



5月25日、26日、安平町の北海道ホルスタイン共進会場にて北海道ブラック&ホワイトショウが開催されました。

今年は、313頭の出品があり、枝幸町からは4頭が出品され、日頃の乳牛改良の成果を競い合いました。

審査員には、北見地方ホルスタイン改良同志会の副会長を務めている山内誠氏を招き審査が開始されました。

審査の結果、グランドチャンピオンには清水町の(有)田中牧場出品、「TMF ナデイル アット アンナ エコー」、リザーブグランドチャンピオンには陸別町の(有)編田牧場出品、「アマミダ プリンセス ゴールド チップ ローザ」が選ばれました。

2019年北海道ブラック&ホワイトショウ出品牛 (JA宗谷南)

部	名号	生年月日	出品者
1部	オムラ ソロモン アベイル ET	H30.10.02	小椋 義則
2部	ハツピーライン ジャコビー ラスター	H30.06.13	内田 喜久男
3部	オムラ MS エーデルワイス	H30.05.12	小椋 義則
5部	オムラ フジサン ブラック ET	H29.10.02	小椋 義則

グランドチャンピオン:「TMF ナデイル アット アンナ エコー」清水町 (有)田中牧場  
リザーブグランドチャンピオン:「アマミダ プリンセス ゴールド チップ ローザ」陸別町 (有)編田牧場

# 巡回ドックで 健康管理

4月16日～19日にかけて、旭川厚生病院による巡回ドックが行われ、239名が受診されました。

巡回ドックは、生活習慣病など病気の早期発見・早期治療を目的に、毎年全道各地で行われています。

現代医療では早期発見、治療で治る確率が高くなっています。

生活習慣病は、気が付きにくい病気で、そこから脳梗塞などにも繋がる危険な病気です。そういった事態に繋がらないようには非厚生病院の巡回ドックを活用し、自身はもちろんご家族の健康作りにもご配慮下さい。

農業者は体が資本ですので、健康状態の悪化は、経営悪化にもつながりますので今回受診されなかった方は、旭川厚生病院で受診出来ますので、管理課まで問合せ下さい。



# 献血を広げよう

5月23日に献血車「ひまわり号」が農協事務所前に来所し、職員は献血を行いました。

輸血に使う血液は人工的に作れず、長期保存も出来ない為、日々献血する人を増やすことが大切とのことで、献血車は年2回来町しておりますが、その際は当農協職員も献血に協力しており、多い人では100回以上献血をしている職員もおります。献血をすると、血液検査の結果が後日届くなどありますので、献血を広げる為にも、献血車が来町した際はご協力をお願いします。



# 春の農業廃プラ回収

4月22日～25日で農業用廃プラの回収を行いました。今回の回収量は、およそ87tありました。廃プラ等は産業廃棄物であり適正に処理する必要があります。またリサイクルも可能な大切な資源でもあります。今後もクリーン農業をめざし、廃棄物の分別のご協力をお願いいたします。

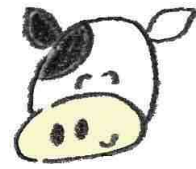
## ～廃プラ回収時のお願い～

日頃より、廃プラ回収に対しご理解ご協力をし頂き、ありがとうございます。

廃プラ回収時については、お願いがあります。廃プラ回収時には、フレコンバックの口を閉じるようお願いいたします。回収時にフレコンバックの口が開いていると中身が飛び、環境汚染の一因になってしまう可能性がありますのでフレコンバックの口を閉じ中身が出ないように、ご協力よろしく申し上げます。







## 無角遺伝子について

近年アニマルウェルフェアによる考え方に対応した飼養管理に基づき、除角については牛への過剰なストレスを防止するため、可能な限り苦痛を生じさせない方法をとるとされています。

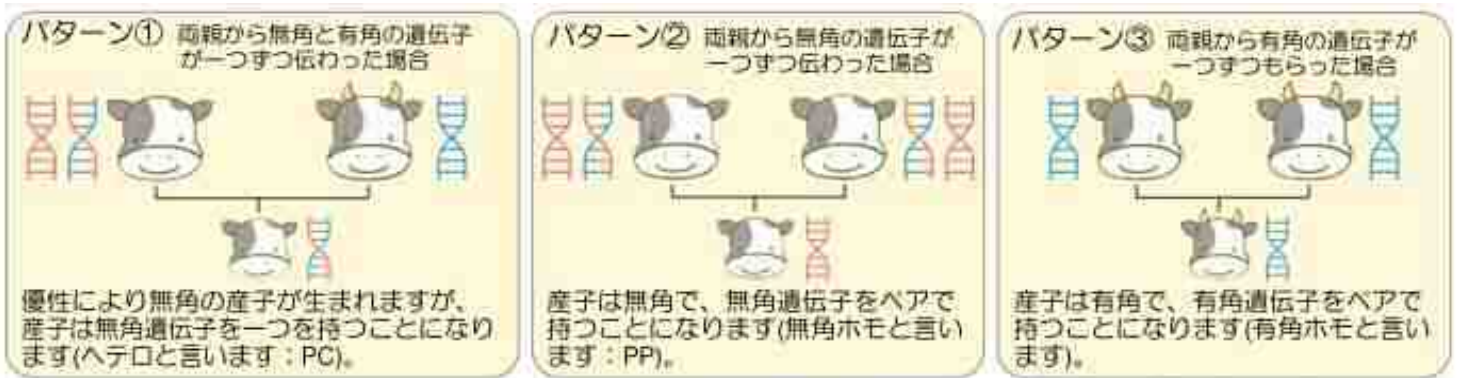
今回は除角が不要な無角遺伝子について触れていきたいと思います。

### 無角とは

文字通りに角がない、もしくはほんの少し角が生える程度で大きくならない事を言います。除角作業の必要がなくなり、管理上では望ましい遺伝子形質です。

### 角の遺伝子および遺伝様式

角の遺伝子は有角遺伝子と無角遺伝子があり、無角の遺伝子（赤）は優性です。遺伝様式は3つのパターンがあります。



※上記のイメージ図にある角の有無は「有角遺伝子」「無角遺伝子」を意味しています。

### 無角産子が生まれる確立

母牛 \ 無角種雄牛	無角 P P	無角 P C
有角	100%	50%
無角 (遺伝子未検査)	100%	75% or 100%(※)

※母牛が無角ヘテロ「PC」の場合は75%。「PP」の場合は100%の確率で無角産子が生まれます。

### ★ 当農協無角キャリア選定種雄牛 ★

- ① JP3H57714X デイブロップ ミスター P ET 6,000円
- ② HG941392 デルタ ファン P レッド 3,000円



どちらの種雄牛も、無角キャリアで、半分以上の確率で無角の産子が生まれます。



NHK連続テレビ小説「なつぞら」をご覧になっていませんか？  
JA北海道中央会のフェイスブックページでは、4月23日より「なつぞら」に関する投稿」を不定期ながら発信しています。

ドラマでは当時の農業や農村の様子だけではなく、農協（JA）についても、取り上げられていることから、北海道農業をサポートするJAグループ北海道として、ドラマの感想も含め、関連する北海道農業・酪農の歴史や魅力、JAに関する歴史・話題などをお届けしてゆく予定です。

フェイスブックにて検索頂きJA北海道中央会のページに「いいね！」  
「ページをフォローする」をタップ頂きますと、記事が表示されるようになりますので、ご覧いただけると幸いです。フェイスブックページで「JA北海道中央会」で検索するか、または、こちらのアドレスからどうぞ。  
⇒ <https://www.facebook.com/jahokkaido>



## JA北海道信連



JAバンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マラソン」への協賛を行い、今年で4年目となります。ゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴを掲出し、特設ブースには新キャラクター「よりぞう」も駆け付け、一緒に写真撮影をされた方に「よりぞう」シールをプレゼントしました。「よりぞう」が登場すると、たくさんの子供たちに囲まれ、大会を大いに盛り上げました。



## ホクレン



ホクレンは創立100周年を迎えた4月18日、札幌パークホテルにて会員JA・取引先をはじめとする皆様にご臨席いただいて記念式典を開催し、続けて祝賀会も開催しました。

祝賀会では100周年の節目にあらためて設定したホクレンの経営理念～わたしたちは生産者のための協同組合として会員JAと連携した事業を通じ、共生の大地北海道から、「農」と「食」の未来を担います～が内田会長より発表されました。



## JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



## JA共済連北海道



JA共済連では、道内の8校（中・高等学校）にて、スタントマンが危険な自転車走行に伴う交通事故場面を再現し、生徒が事故の危険性を疑似体験する（スケアード・ストレッチ教育技法）自転車交通安全教室を開催します。

JA共済連は、本活動を通じて交通事故の未然防止を図り、次世代を担う子供たちの育成と安全な生活環境づくりに貢献していきたいと考えております。



JAグループ北海道の联合会・中央会の活動内容を紹介し、各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。





# 公共育成牧場 夏季放牧開始

5月29日～30日、公共育成牧場の夏季預託一斉入牧が行われました。

町内若手酪農家、町職員、農協職員、アグリサポーター、枝幸従業員が作業にあたり、酪農家29戸から、330頭を搬入しました。最初に牧場の待機場へ運ばれ、体重測定や個体識別番号の確認を行い、その後、放牧地へと運ばれました。

10ヶ月齢～20ヶ月齢の育成牛が秋には、50kg～100kg増体し、妊娠牛となった育成牛たちは預託元へ戻り、立派な搾乳牛となることでしょう。



# よつ葉乳業(株) 若手酪農生産者研修

6月4日、若手酪農家の生産技術の理解・習得及び情報交換を目的に、宗谷・オホーツク管内から24名が参加し、よつ葉乳業(株)若手酪農生産者事業が行われました。当農協から、乙忠部の石田晃介さん、風烈布の佐藤良介さん、営農課の間見谷係が猿払村にある(有)北の大地を視察しました。

(有)北の大地は、井上勝敏代表取締役他、構成員8名、従業員4名の計13名で経営をしています。井上氏は、構成員の満足感を基本にしており育成牛は全て預託し、平成29年度からは搾乳ロボットを導入して経産牛469頭を搾乳ロボットで搾乳し、労働力の省力化を図っています。搾乳ロボットに合わない牛(手間のかかる牛、乾乳に近い牛)などは、既存のパララーを併用し、搾乳ロボットを効率よく稼働できるようにしていました。(有)北の大地の特徴としては、地域と牧場の将来を考えた投資計画の策定・実行、搾乳ロボットの導入やTMRセンターを活用し省力化の実践、バイオガス、コンポスト導入による堆肥処理問題を解決していることが特徴です。

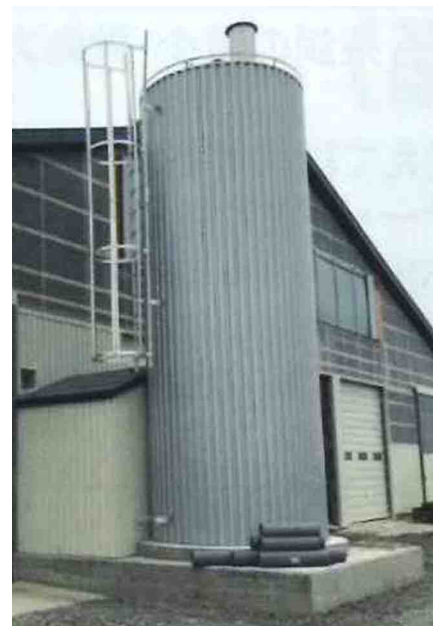
また、視察終了後は、よつ葉乳業(株)宗谷工場へ場所を移し、意見交換会を行いました。牧場視察で、「縦型バルククーラーがめずらしいと思っただ。」「従業員の住む場所は何処にあるのか。」など感想や疑問を出し合い、疑問は井上氏に回答を頂き、疑問が解消された所で研修は終了しました。



(有)北の大地  
井上勝敏代表取締役



視察研修会に参加した佐藤良介さん(左)  
と石田晃介さん(右)



縦型バルククーラー  
(容量20,000ℓ)

浦谷	高本	森川	滝口	飯田	野澤	村田	編集委員
正憲	等	忠幸	直也	達也	隼希	太	